



道新青葉中央販売所だより

発行元：(株)道新販売センター 青葉中央販売所

〒004-0021 厚別区青葉町6丁目1-33 ☎0120-881-365 FAX891-3486

営業時間 平日：9時～20時 日祭日：9時～12時

2019/ 11/5
火曜日

厚別アラ歩き

#26 小野幌⑫ 古代人と近代人の聖域観

図1は大正5年地形図から現在の厚別東地区あたりを抜粋したものです。この地図に、前号(#25)でお伝えしたS153遺跡(縄文時代から擦文時代にかけての土壌墓など)の位置を赤い□で囲いました。私は面白いなと思ったことがあります。赤い矢印を付けた先をご覧ください。神社の地図記号(鳥居)が描かれています。この神社は、1906(明治38)年に入植者が祀った小野幌神社(の前身)です。数千年前から800年くらい前にかけて先史人が墓域としたところの一角を、明治期の人びとが神域としました。先史遺跡が発掘されたのは昭和後期になってからであり、明治の入植者は知る由もなかったでしょう。

『小野幌開基百年』1988(昭和63)年に、神社のさらに前身の祠のことが「古老の話」として記されています(p.126、以下引用太字、一部表記を変更)。

司会 明治38年の神社建立以前に、どこか別の場所に神社があったのでしょうか。

N(出典には実名)今の清掃工場の焼却炉のちょっと北の小高いところにあったのです。

今は均してしまいましたが、遺跡を掘った200mくらい北の方になりますかね。それも神社と言うような大きなものでなくて、「祠」式のものだったらいいですよ。

「清掃工場の焼却炉のちょっと北の小高いところ」というのも、S153遺跡と微妙に近いのです。図2の現在図に、厚別清掃工場(現在は跡地)を赤い■で、S153遺跡を赤い□で示しました。古代縄文人と近代和人のいずれもが聖地を同じような場所に見出したことに、私は偶然ならざるものを感じてしまいます。なお、小野幌神社は1934(昭和9)年、国道12号沿いの現在地に遷座されました。

(地域史研究者 杉浦正人)



図1：大正5年地形図(大日本帝国陸地測量部)



図2：現在図(国土地理院サイトから)

お知らせ

第10回厚別歴史写真パネル展 とき：11月28日(金)～30日(土) ところ：新さっぽろサンピアザ1階「光の広場」 *新札幌30年の移り変わりなどが写真で展示されます。

道新 青葉中央販売所は献血活動を応援しています

命を救うボランティア献血バスへ行こう!



★みなさまの血液は、
誰かのいのちに繋がります★

毎月、ご近所に献血バスがやってきます

受付時間	献血会場
11/3(日) 9:30~11:30 13:00~16:30	イオンモール札幌平岡店 札幌市清田区平岡3条5丁目3-1
11/27(水) 9:30~12:00	北星学園大学 札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1

~A型・O型・AB型の不足に非常に困っています~

~新さっぽろ献血ルームのご案内~

- ◇厚別中央2-5 Duo(デュオ) 地下1階
- ◇受付時間 ①10:00~13:00 ②14:00~18:00



★休憩スペースにはクッキーなどお菓子をご用意しております。また、キッズスペースも充実! 安心して献血いただけます。

※①北海道赤十字センターHPより転載 ※②献血バスの進行予定は変更になる場合がございます。直近の予定は北海道赤十字センターHPにてご確認ください。
<https://www.bs.jrc.or.jp/hkd/hokkaido/>

Doshin Books 北海道新聞社の本

11月22日発売予定 予約受付中!

ファイターズ2019 オフィシャルグラフィックス



©H. N. F

北海道新聞社 編 A4判 144ページ オールカラー 定価1200円(税込)

開幕戦から最終戦まで、公式戦全試合を完全収録。北海道日本ハムファイターズの2019年シーズンを臨場感あふれるカラー写真と詳細な記事で振り返る公式写真集。

ありがとう田中賢介! 引退記念公式写真集

北海道新聞社 編 B5判 112ページ オールカラー 定価1320円(税込)

現役引退した田中賢介選手のプロ野球人生20年の軌跡を秘蔵写真で振り返ります。本人へのインタビューのほか、稲葉篤紀日本代表監督、金子誠コーチ、森本稀哲さんらの証言を交えながら、田中選手の実像にせまります。

お求めは下記の道新販売所でどうぞ。ご自宅までお届けします!



お問い合わせは
青葉中央販売所
フリーダイヤル:0120-881-365